

茨高
茨中

春秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 安 隆 之
編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



入学によせて

PTA会長 安 隆 之

「喘矢濫觴」(こうしらんしょ)※

PTA会員の皆様におかれましては、平素より茨城中学・高等学校におけるPTA活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。また、本年度ご入学されました中学・高等学校の新生・保護者の皆さまにおかれましては、心からお祝い申し上げます。

さて、冒頭から自らの不勉強を告白させていただきますが、PTA会長を拝命するにあたり改めて「PTAとはなんぞや?」ということ、その成立や理念などを少し調べてみました。

PTAは、Parent(親)、Teacher(教師)、Association(組織)の略語で、日本語訳は「父母と先生の会」となります。PTAは、昭和二十年に文部省が発表した「新日本建設の教育方針」から歴史が始まり、日本の戦後教育に関する基本を示す「米国教育施設団報告書」によってその設立と普及を推奨する方針が掲げられ全国的に広まったそうです。

昭和四十二年、社会教育審議会は次のように規定しました。「父母と先生の会(P T A)は、児童生徒の健全な

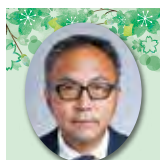


成長をはかることを目的とし、親と教師とが協力して、学校及び家庭における教育に関し、理解を深め、その教育の振興につとめ、さらに、児童生徒の校外における生活の指導、地域における教育環境の改善、充実をはかるため会員相互の学習その他必要な活動を行う団体である。」(引用「公益社団法人日本PTA全国協議会HP」)すなわち、PTAとは誰かに強制されたものではなく、各学校組織から独立し、保護者と教師の間で自主的に組織され、学校と共に子どもの健全な成長を目的として活動している組織・団体ということになります。

他方、PTAは「社会教育団体」ともいわれています。学校で行われるのが「学校教育」、家庭で行われるのが「家庭教育」、それと並ぶのが「社会教育」です。子供は家庭・学校・地域を歩き来しながら、生活・学び・成長します。家庭のしつけが学校での学習に生き、学校で学んだ友人関係が地域に繋がります。子供の成長は時と場所を選ばず継続しています。そんな子供の成長を社会から手助けするのがPTAということになります。また、PTAは成人教育の場ともいわれます。より良い保護者・先生であるためには、自ら学び研修に励む必要があります。より良い大人であることが、子供たちの健全教育のためには大切なことです。活動を通

して、共に学び成長していくことができるのがPTAの理想像です。

というわけで、PTA活動は保護者の一人一人が、子供たちの成長と共に自分自身も成長することができるとして存在するものですから、「誰かに任せなければよい」というわけではなく、保護者の皆様に主体的に関わっていただくことが良いPTA活動なのかなと思います。それでも、PTAは「敷居が高い」とか、「無理やり役員にさせられそうで怖い」などと思われがちですが、そんなことはありませんので、ぜひとも忌憚なき



本当の自分

校長 梶 克 治

きご意見等をいただけるとありがたいです。
今年度も、学級懇談会や学年懇談会等の各種懇談会、学年によつては外部講師を迎えての研修会、創立記念日である十月三日には校外研修として本校の提携校でもある国際医療福祉大学へ保護者の見学会等も企画されております。これらの行事に保護者の皆様に「参加していただくこと」が、まさに「PTA活動に関わる」ということですので、奮ってご参加いただけますと幸いです。

※物事の始まりのこと。

「不易流行」ということは、

江戸時代の俳人松尾芭蕉の教えを記した『去来抄』にある「不易を知らざれば基立ちがたく、流行知らざれば風新たならず」に由来します。「物事は、変わらない何かを持たなければ振り所を失ってぐらついてしまう。変化を否定すれば新たな価値は生まれずに停滞してしまう」とでも解釈できるでしょうか。

日本人は変わることが苦手だ、と『訂正する力』(朝日新聞)の著者東浩紀さんは書いています。一度口にした意見には責任を持ち「ぶれない」ことを美德とする文化が日本には存在する。それが時として停滞や硬直化を招いてしまう。絶対の正義を振りかざす論破のゲームではなく、立場を異にする者同士

が対話をとおして少しずつ意見を変えていくことが大切だ、と東さんは述べています。訂正する力、再解釈する力が必要だということです。

もちろん根無し草のように、ただ変化すればいいというわけではありません。物事には、変えるべきではないもの、変えようとしても変わり得ないものが確かに存在しています。

茨城高等学校・中学校は長い歴史と伝統を有する一方、常に最先端の教育に挑戦し続けてきました。今般の駿台とのパートナーシップの締結、AI教材Platformの導入はその端的な例です。一方でその基盤には、建学の精神「報恩感謝」が変わらず存在しています。「社会報恩の念に厚い、社会のリーダーた

り得る人材の育成」という、百年前に飯村丈三郎先生が掲げた理念は、今も私たちの学び舎に息づき続けているのです。
「自分探し」ということは、流行った時期がありました。自分の内に存在する、今ある自分とは異なる本来の自分を発見しよう、という意味です。実は私はこのことばに、ある違和感を抱いていました。「自分探し」の背後には、「これが本当の自分です」と示すことのできる永久不変の自分が存在する、という考え方が感じられるからです。実際には人間は、日々少しずつ変化をしていくものです。十五歳の少年のアイデンティティをそのままキープしている五十歳のオジさんがいたらオカルトです。新たな知識を得、新たな考え方に会って、変化し、再解釈し、自己更新していくのが人間ではないでしょうか。
パラダイムシフトとも呼ばれる変化の時代、その影響をまねがれることのできる人は誰一人いません。変化を受け入れるだけではなく、ゲームチェンジャーとして自らが新たな価値を創造することが求められています。その大いなる変化の中にあって、生徒諸君には、自分が根ざす場所はどこにあるのか、何を出発点とすべきなのかという問いに立ち向かい続けてほしい。たとえ答えの糸口がまったく見いだせなくても、その問いを抱き続けること自体が、君の拠り所となるはずだ。変化を恐れず、思考停止に陥らず、自らの人生に誠実に、果敢に向き合おうとする中で、自分とは何者なのか少しづつ見えてこないとも限りません。

入学によせて



高一学年主任

作山 友孝



中一学年主任

井上 奈穂

二百三十一名の新入生の皆さん、茨城高校へのご入学おめでとうございます。とはいっても、この文章を読むのは夏休み前。遠足や文化祭を経て、定期試験も二回行い、すっかり高校生活にも慣れたきたのではないのでしょうか。ところで、入学式直後の学年集会で話したただけなのに、すっかり忘れてしまっていることでしょうか。初心忘るべからず。学年目標を再確認しましょう！

『Think Globally, Act Locally』

一、挨拶（あいさつは心の扉を開くカギ）

二、克己（己の敵は己である、甘えを捨てよ）

三、一所懸命（目の前の何事にも全力で取り組め）

四、一日一日を省みて、昨日よりも素晴らしい自己の発見を

コロナ禍で制限された過去三年間を過ごしてきた皆さんには「学校と家の往復の狭い世界ではなく、もっともっと広い世界を見てほしい。そしてその広い世界で今自分は何かができるのかを考えてほしい。」との願いを込めています。

なのは、「心身の健康」です。これ無くして楽しい学校生活は送れません。元気に挨拶をして、何事にも前向きに取り組んでいきましょう。そして茨城高校での三年間を最高のものにしていきましょう。



三十期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。茨城中学校へ入学して約三か月半が過ぎました。校内に響く元気な声と笑顔に日々癒されています。オリエンテーション合宿、定期試験、体育祭、部活動と仲間との思い出が少しずつ増えてきました。私たちも百四十七名の皆さんと出会い、共に時間が過ぎることを大変嬉しく思います。同時に責任の重さも実感しています。長いようで短い六年間。勉強や部活動など自分で決めたことは最後までやり遂げてください。そして、様々なことにチャレンジをしてくださいます。多くの経験が皆さんを心身共に成長させてくれるはずですよ。卒業生のお話で印象に残っている言葉です。「高校時代は友達と毎日十九時まで学校に残って勉強をしました。その時の自分が人生で一番頑張っていました。本当に充実していました。だから楽しかったです。」生徒たちが一番頑張った、そう言い切れる場が茨城中高であったことを嬉しく思いました。皆さんが茨城中学校・高等学校を選んで良かったと思えるよう、これからの学校生活を全力でサポートしていきたいと思えます。共に頑張りましょう！

男子硬式テニス部

三年A組
西原 泰史

僕たち中学硬式テニス部は計四十名で活動しています。テニス部の魅力は、何と言っても全員が楽しく練習しているということです。また、ただ楽しんで練習しているだけではなく少ないコート数で工夫しながらメニューを考え、みんなで支え合って日々練習しています。最近では大会でなかなか勝



つことができずあまり活躍できていません。時間は限られています。今一度一致団結して最大限のパフォーマンスを発揮できるように頑張りましょう！

生物部（中学）

三年D組
鈴木 誠剛

生物部の活動は生き物の世話を基本としている。餌をやったり水槽の掃除をしたり。地味に見られるだろうが飼っているのはウナギだったり熱帯魚だったりです。実際に地味なものでもない（？）と思います。また、月に一度千波湖で生物調査をしたり、夏休みには山ごもりで三泊四日の調査合宿なんかも行っている。



正直まだまだ書き足りないのだが、そろそろ字数制限に引っかかりそうなので、ここらで筆を置かせていただきます。地味そうな生物部のイメージ、少しは変わっただろうか。

剣道部（高校）

三年A組
平井 啓貴

私達剣道部は、経験豊富な六名の先生方のご指導の下、中学生七人、高校生十七人で一緒に稽古しています。活動は週三回で決まっていますが、短時間でメリハリのある稽古をしています。剣道部は、日本の伝統的な武道である剣道の稽古を通じて、礼儀作法を学び、心身を鍛えることができる素晴らしい部活です。竹刀を交えることで、相手思いやる心、暑さや寒さの中での稽古で厳しさに負けない精神力を養うことができます。日頃の成果を試せる大会や他校の生徒と交流できる練習試合など、部活の醍醐味です。



部活動の紹介

女子硬式テニス部

三年C組
大村美玖莉

中学硬式テニス部は男子二十六名女子十四名の計四十名が北関東出場を目指し、日々練習に励んでいます。練習は週に三、四回男女混合で行うことが多いため男女の仲も良く、部員も個性豊かです。いつもコートから笑い声が絶えず、勉強と部活を両立させています。その上、顧問の先

生やOBの先輩方も優しく丁寧に教えてくれます。さらに春休みと夏休みには合宿があり、そこではテニスの技術だけでなく集団生活に必要なスキルも身につけることができます。春秋を読んでいるあなた、私達と一緒にテニスをしませんか？



水泳部（高校）

三年B組
伊丹 勇磨

皆さんこんにちは！私は水泳部に中高共に六年間在籍させてもらいました。伊丹と言います。私はこの水泳部で充実した日々を過ごすことが出来ました。他の部活とは違い、活動が週三回で練習時間は（時間半）一時間と回数も少なく時間も短いですが、だからこそ一回一回の練習を大事に生懸命取り組むこと

ができました。それには水泳部の環境の良さや先輩と後輩の関係性がフラットだったこともあり基本的にストレスに感じることが少なかったからなのだと思います。そんな水泳部で六年間活動出来たことは自分にとって本当に良い経験であり一生の思い出になりました。顧問の先生方含め部員全員に感謝してもしきれません！本当に世話になりました！



弓道部（高校）

三年G組
荒川 由衣

私達は、遠藤康先生と作山先生のご指導の下、三年生計三十三名で週四回活動しています。コロナ禍で思うように活動できなかった時期もありましたが、漸くコロナ禍が明け、例年通りの練習や大会が行えるようになりました。手元一耗の狂いになり、体になる繊細さ、年齢や性別、体

格など関係なしに永続的にできる点が弓道の魅力です。三年生は六月一日の大会をもって引退となりましたが、二年生を中心に、中学生含め部員全員が切磋琢磨し、より高みを目指して、今までよりも良い成績を残してくれていると信じています。



高三遠足

高三学年主任 鯨井 章二

高校三年生は、クラスごとに大学見学および東京散策を行いました。A組は明治大学、B組は上智大学、C組は国際基督教大学、D組は東京理科大学、E組は芝浦工業大学、F組は東京農工大学、G組は電気通信大学に伺いました。模擬講義や実際の学生が案内してくれるなど、

どの大学も丁寧に対応していただき、大変参考になる情報を得られました。また、『大学生になりたい』『綺麗なキャンパスで学びたい』という気持ちをさ

らに高めることができました。生徒たちは、部活や学校の授業、定期テストや模試、様々な行事の中心的な存在としてとても忙しい日々を送っています

が、この日だけはそれらのことを忘れて、晴天下気持ちよく東京の街を散策しました。お陰で、良いリフレッシュにもなりまし

たし、新しいクラスメートとの親睦を深める素晴らしい機会となりました。

高三遠足

高二学年主任 長谷部 将司

高2の遠足は東京方面でした。午前中は浅草寺を中心とした浅草周辺での班別自由行動

で、昼食込みのため時間的にそれほど余裕があった訳ではあり

し切りということもあり、テンションが上がった人も多かったよう

です。下船後はお台場での同じく自由行動で、時間が短く

集合場所も分かりにくいこともあり、一瞬迷子になった班もあり

高一遠足

高一学年主任 作山 友孝

高校一年の遠足の行先は、日光東照宮と日光江戸村でした。どちらも『江戸時代』にまつわ

る場所であり、楽しみながらしっかりと歴史の学びを深めることができました。東照宮の陽

るもの全てが『江戸』。実際に江戸時代にタイムスリップしたかのような空間であり、スタッ

フの皆さんも江戸時代の話し方(?)になっていたりと、料金も『三百両』(実際には三百円)など

と表記されていたりと、今話題の『イマージュ体験』ができるような楽しい施設でした。ク

中三遠足

中三学年主任 佐藤 麻希絵

四月十九日(金)、中三遠足の行先は東京でした。東京に着いてまず向かったのは東京大

学! 正門をくぐり(赤門は工事中でした)、新緑のきれいな安田講堂脇で茨城中・高の出身の

天野倉先輩、會澤先輩の話を楽しみました。その後は不忍池周辺を歩いて国立科学博物館へ。午後は神保町、秋葉原、浅草など、事前に行先と経路を調べての班別行動でした。みんなの話を聞くと、とても楽しい時間が過ごせたとのこと。何よりもすばら



中二遠足

中二学年主任 及川 純

中学二年生は、夏休みに実施される林間学校での磐梯山登山のウォーミングアップを兼ね

て、筑波山に登りました。筑波山神社付近から登り始めて男体山頂へ。山頂付近の眺め

を堪能しながら昼食をとりました。その後、女体山方面へ縦走し、つつじヶ丘へと下山しました。

日本百名山にも選ばれている筑波山。途中には不思議な形の岩が点在しており、自然の神秘を感じました。また急峻な岩場もある中で、登山の醍醐味を味



中一遠足

中一学年主任 井上 奈穂

水戸少年自然の家にて五年ぶりのオリエンテーション合宿を行いました。飯村丈三郎先生や

建学の精神について学び、飯盒炊さんやウォークラリー、キャンプファイヤー、焼き杉板体験と盛りだくさんのプログラムで

したが、生徒たちは終始笑顔で活動していました。これだけ動けば夜はぐっすり眠るに違いな

い、という教員の期待を裏切り、消灯時間後もあちらこちらから聞こえてくるヒソヒソ声。強風ニモマケズ、カメムシニモマケズ、たくさん





企画総合
キング
3-E
3-B
3-D



3-C



3-C代表生徒 市村 奈穂

私達にとって二度目であり、最後の文化祭。理想を形にするため、互いにぶつかり合い、辛い時期もあったが、準備期間にはそれを感じさせないほど団結して、みんなが満足するものを作り上げられた。結論3-C最高！

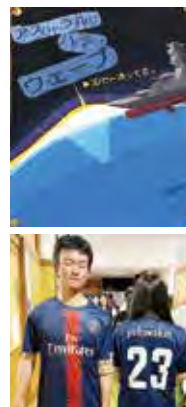


3-D



3-D代表生徒 安 美優

コロナの制限が無くなった最後の文化祭は、みんなで協力しジェットコースターの企画をやりきることができました。クラス企画投票で三位になりクラスの仲間も深まったと思います。最高の思い出となりました！



3-G



3-G代表生徒 荒川 由衣

普段の学校生活とは一味違う充実感を味わうことができました。一貫生と高入生の間にあった多少の垣根も、準備を進めていくうちに無くなり、距離が縮まりました。高校生活最後の文化祭は最高に楽しかったです。



クラスポスター企画1位



画 戸崎 千尋

文化祭ポスター



画3B 能登 一珠



1-F



1-G



1-H



文化祭実行委員長
教員 谷部 淳一

天候に恵まれた今回の文化祭。3000人を超える来場者を迎え、終始活気にあふれていた。中でも3年生は、企画や運営の中心として後輩の良きお手本となった。エンディングセレモニーでの表情からは、様々な困難を乗り越え最後の文化祭を十分に楽しんだという充実感を感じた。



2-F



2-G



文化祭実行委員長
生徒 堆 柑奈

皆さんはこの文化祭で一生大事にしたい思い出は出来ましたか？私はエンディングセレモニーのときステージ上から見た皆さんの笑顔が一生の思い出です。今振り返っても心が踊るくらい最高の文化祭でした！

図書委員会

佐々木 隆太

今年度は、茨城高校・中学校図書館の歴史についての展示と、図書委員が推しについて語るトークショーの「イバイバ超会議」を行いました。お忙しい中ご協力いただいた司書の方や、委員、OGの皆様、そして吾妻先生本当にありがとうございました。

コンピューター研究部

谷島 広佑

C研では、Scratchで作ったゲームの体験、高速化した中古PCや道路標識の再現の展示を行ったほか、QRコードを黒板に書きしました。子供たちやOBの方を含め、お越しいただいた皆さんの「面白い！」という言葉が私たちの何より励みです。ありがとうございました。

吹奏楽部

倉橋 優綺

全校生徒の前で初めての甲冑演奏出来たことを嬉しく思います。皆さんの熱気に合わせ、演奏で貢献させて頂いたことで、茨祭がさらに盛り上がっているのが目に見え、改めて音楽の力を再確認することができました。関わってくださった皆様、ありがとうございました。

史学部

児島 彩愛

今年は初めての甲冑制作を行った。進級前から準備を進めていたため、文化祭当日にここに児童を被り、写真を撮ってもらっている子の笑顔を見たときには、作って良かったと心から感じた。部員たちと長期間にわたり協力して成功させた喜びは一生の思い出だ。

美術部

大津 千慧

美術部では部員作品の展示、キーホルダー作りのワークショップを開催しました。生徒、教員や外部の方が沢山お越し下さり楽しい時間となりました。また、正門アーチを設営し単独で制作することの多い部員同士の交流の場を設けて一緒に取り組む事ができました。

生物部

齊藤 咲

今年の生物部は来場者数が1400人を超え、展示企画も去年よりパワーアップしました。今年で大樹は42号を迎えました。執筆には苦戦しましたが、後輩達が更に部活を発展させてくれることを信じています。

囲碁・将棋部

村田 龍輝

自分を支えてくれた方々に教えてくれた指せる限りの最善手をもって将棋部に来てくださった方々と将棋をすることができました。例年より将棋などを指した方の数は体感的に例年より多く、また、中には将棋のために来校してくれた方もおり大変嬉しく思います。



クラス
ラン
1位
2位
3位

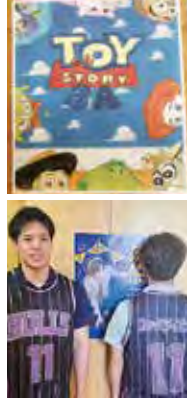


3-A



3-A 代表生徒 中島 樹

今回の文化祭は、三年生にとって最後の文化祭でしたが、話し合う時間や期間があまりなく、大変でした。色々、意見や企画のことで噛み合わないところがありましたが、最後には楽しく終わりました。



3-B



3-B 代表生徒 種村 高史

私は委員長という立場でありながら部活の手で一杯で、文化祭期間中から当日までクラス企画に関わることができませんでした。委員長が不在の中で企画を進めてくれたクラスメイトの方には感謝してもしきれません。



3-E



3-E 代表生徒 西 杏樹

高校最後の文化祭で自分のクラスが優勝するという最高の思い出を作ることができました！クラスみんなで一致団結し、一生懸命したことが優勝に繋がり、とても嬉しいです。これからも色々なことがありますが、みんなで乗り越えていきたいです。



3-F



3-F 代表生徒 久保 樹哉

高校で最後の文化祭が終わり寂しさを感じると同時にまた一つ成長したように思います。仲間と協力して企画を作り上げ、互いの絆を深めることができました。次は受験という大きな壁がありますがこの経験を忘れず乗り越えたいです。



J R C 部

青木 莉央

「知的障害者就労支援施設はげみ」さんのクッキーとミニパウンドケーキの委託販売を行いました。ありがたいことに両日とも1時間せずに完売することができました。購入していただいた皆さん、執行部の方々や谷部先生、顧問の先生には感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。

競技かるた部

佐藤 雪乃

百人一首の作品をテーマにした展示をしました。カルタ体験では、百人一首の経験者の方から初心者の方まで参加していただきました。試合ルールや札の覚え方など、競技カルタについて学べる機会をつくることができ、楽しんでいたかったです。

フォーク部

小沼 颯汰

自分はバンドとアコースティックで出演してもらい、楽しい経験になりました。また、自分の趣味の音楽で新しい繋がりを得ることができ、とても嬉しかったです。今回のライブで音楽に興味を持ってくれた人がいたら是非、始めるきっかけにしたいと思います。

放送部

加古 真優奈

放送部初の試みである、ライブハウスのような空間でお客さんに歌ってもらうカラオケ大会を行った。上手くいくが不安だったが、多くの人の支えや手助けのおかげで無事、文化祭を成功させることができた。顧問の高村先生をはじめ、仲間のみんなには感謝しかない。

漫画研究部

鴨志田 美緒

本年度も見込めがある部誌を作ることができました。また展示や塗り絵、射的コーナーにも多くの方々にお越しいただきました。部誌を手にとってくださった方々、部員や寄稿者の皆様、顧問の先生や部誌の制作に協力してくださった全ての方々に感謝申し上げます。

化学部

堆 柑奈

小さな子どもたちをはじめ多くの方が化学部を訪れてくれました。今年は初めての試みだった巨大シャボン玉、一番人気だったスライム、その他クロマトグラフィーやガラスハープなどの企画を行いました。お客さんたちの笑顔が見られてとても嬉しく感じました。

ESS 部

鷲 峻

私にとって今年のESS部は初めての連続でした。初めての部長。初めての後輩。初めての演劇。正直部長に就任した直後は不安でいっぱいでした。でもこんな私を真っ向から受け止めてくれた後輩には感謝してもしきれません。たくさん思い出をありがとう。

総合順位

- 1位緑組
- 2位青組
- 3位黄組
- 4位赤組

皆さんこんにちは。生徒会長の松浦成海です。正直会長として体育祭に思うことがあります。なので今回は私の願う理想のイベントについて語らせてもらおうと思います。

僕は真のエンジョイ勢なので本気で全員が楽しめるイベントを作りたく、生徒会長になりました。楽しくない人がいてはダメなんです。イベントには敗北が付き物。しかし、負けても楽しかった!!と言えるようなイベントは最高だと思いませんか? そんな最高が僕の願う理想そのものだと言えたらいいですね。体育祭はとっても楽しかったです!!

生徒会長
松浦 成海

第55回 茨中体育祭 2024.6.9



体育祭実行委員長
関 佑太

今年度は天候に恵まれ、全日練習から本番までの四日間を晴天日程で行うことができました。雨が一日もない体育祭は久しぶりで、生徒もやっと一日通して体育祭ができるぞ、と意気込んでいた姿が見られました。中学三年生にとっては最後の体育祭、二年生にとっては一つ先輩になつての体育祭、一年生にとっては初めての体育祭とそれぞれ抱える思いは違うと思いますが、それでも優勝に向かって全力で取り組む姿には胸を打たれました。生徒全員にとつて思い出に残る体育祭になってくれればと思っています。





緑組団長
大村 美玖莉

緑組団長の 大村美玖莉です。
今年の緑組の目標は「体育祭を楽しむ」ことだったので、どんなことも私が一番に楽しむという気持ちでいました。まず三年の応援団の仲が非常に良かったことが緑組全体の雰囲気も良くし、優勝という結果につながったと思います。また、緑組のために尽力してくださった先生方、応援の際に会場を盛り上げてくれた観客のみなさん、ありがとうございます。そして緑組のみんな、私たちにここまでついてきてくれてありがとう！みんなのおかげで、最後の体育祭を楽しむことができました！そして最後に、緑組最高!!!



青組団長
松浦 成海

僕が青組団長として体育祭を通じて感じたこと。まず、皆で団結して何かをするのは素晴らしいことだと感じた。今までそういうのはホントに興味がなかったから正直どうでもよかった。しかし団長という立場になり皆がそれぞれの個性、力を合わせて頑張っている姿はとても輝いて見えた。次に、責任の重さについて。団長立候補当時は「まあいい経験になるし、楽しそうだな。」くらいの甘い気持ちだった。約一〇〇人の青組生徒の代表として取るべき行動がアレで正解だったとは思えない。頼りがいがない団長だったけど後悔はしていない。



黄組団長
高柳 祐一朗

みなさんこんにちは！黄色組の団長を務めさせていただいた高柳祐一朗です。今年の体育祭は天気に恵まれ、例年通り多くの競技を行うことができました。そんな中、私たち黄色組は体育祭の目玉である応援合戦で、見事二位を獲得しました。時には意見がまとまらなかったこともありましたが、黄色組のみんなが一丸となって積極的な練習に参加してくれたおかげで先生方や観客の人を湧かせる、最高の演技を披露することができました。総合結果は三位でしたが、全力でやりきった黄色組は僕の中では一位だと思っています。最後の体育祭で忘れられない思い出を作ることができました。体育祭をつくり上げてくださった皆様、本当にありがとうございました。



赤組団長
安孫子 翔

皆さんこんにちは！今年の赤組団長を務めさせていただいた安孫子翔です。今年の赤組は、学年を超えて仲の良い組でした。そんな中、三年生は全員がサポートやアドバイスをして協力的でした。また、一・二年生はメリハリがしっかりしており熱心に練習して三学年が1つの赤組となっていました。結果は四位でしたが、中学最後の体育祭を「赤組でよかった、楽しかった」と思える体育祭でした。一・二年生には、僕たちの分まで頑張してほしいです。赤組のみんな、先生方、PTAの皆様、保護者の皆様、最高の体育祭をありがとうございました!!



新任教職員の紹介

- ①好きなこと
- ②中高生の頃の夢
- ③生徒へのメッセージ



坂口 大介
(音楽)

今年から茨城中学校、高等学校で音楽を担当している坂口です。僕は茨中の出身、なので学校を卒業した後は音楽大学に入り音楽家として生活してきました。学校で音楽を教えるのはこれが初めてです。音楽を通していろいろな場所に行ったり、沢山の人の出会うったり、様々な経験をしてきました。音楽のよさは人生の折々において感じる事が変わってくる事。音楽の面白さ、楽しさを一緒に味わっていきましょう！



高 早苗
(国語)

①「韓国ドラマ」の沼民です。以前は本がそばにないと落ち着かず、読み漁っていました。本屋さんで本を探すのも好きでした。
②哀しいかな、これといつてなかったような。でも、大学で教職課程を履修したので、漠然と「学校の先生」になったかったのかもしれない。
③とても新鮮な気持ちで毎時間教室に足を運んでいます。授業に真摯に取り組む生徒さんの進路実現の一助を担うことができればと思っています。よろしくお願いします。



鈴木 裕太
(数学)

①ゲーム、アニメ鑑賞、料理、水族館に行くこと
②中学生の頃は獣医を目指していましたが、苦手な動物がいたので別の道と考えたと記憶しています。教員を目指したのは、高校生の頃です。ずっと数学が好きだったのでそれに携わる仕事をしたい、数学の面白さを多くの人に知って欲しい、という思いがきっかけです。
③世の中には「なぜ」があふれています。楽しみながらそれらを考えてほしいです。これからよろしく願います。



平井 莉都
(養護)

①甘いものとブラックコーヒー。料理とお菓子作り、ゲームも好きです。
②パティシエ、養護教諭
③「You play with the cards you're dealt... whatever that means.」(配られたカードで勝負するしかないのさ...それがどういう意味であれ...)。漫画ピナッツのスヌーピーの言葉です。ゆつくりと自分の手札と向き合うのも、悪くないかもしれません。



額賀 俊光
(数学)

①好きなことは「数学」の本を読み進めることです。現在はTeXという数学ソフトを使っている、数学の問題を清書しながら解いています。
②中高の頃は、少しずつ数学が得意になっていったので、将来は「数学」が活かせる職業に就きたいと思っています。結果、数学教師になりました。
③様々な事象に対し疑問を持ち「自分の頭で考える」ことを心掛けてほしいと思います。得た知識は皆さんの身体に染み付き、生きるための糧になります。



大向 一幸
(数学)

①スポーツ観戦が好きです。プロ野球の東京ヤクルトスワローズの大ファンです。野球以外にもサッカー(Jリーグ・プレミアリーグ)やラグビーなども観ます。
②「学校」という場所が好きだったり、数学や社会などの「勉強」が好きだったりしたこと、もあって、中高生の時から教員になりたいと思っています。
③中学生・高校生の時にしかできないことがたくさんあります。後悔しないよう何事にも全力で取り組んでください。



関根 規夫
(英語)

①好きなもの... コーヒー、駄菓子
好きなこと... 堅苦しくない本を読むこと、雑草と闘うこと(特に春・夏の時期)
②中高生の頃の夢
いわゆる、普通の大人になりたいと漠然と思っていた。中学生時代... 電機メーカーでの設計や生産技術の開発
高校生時代... 自動車メーカーでの部品管理業務
③生徒たちへのメッセージ
持っている力を出し惜しみしないこと
自分の気持ちを大切にすること
友だちを信じること
親の思いを聞き、理解すること



石井 明菜
(英語)

①新しい体験から新しい価値観を見つけること
②その時を生きるのに精一杯！ぜひ当時の話を聞きに来てください！
③料理や片付け、進路選択等を決断する中で「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と感じました。私は自己判断でたくさん失敗し、心がグシャグシャでした。闇雲にやるのではなく、歴史(他人の経験)を聞いて効率よく取捨選択できると思います。私の経験も皆さんの参考になればと思います！たくさんお話ししましょう！

UC DAVIS 研修プログラム

高校三年C組

吉澤いろは

既に留学を経験している私がアメリカ研修に参加した理由は参加者全員のことで考えられる立場として研修に望みたいと思ったからです。

引率教員 木村 智樹

この春実施されたUC DAVIS

研修プログラムは、コロナ明けの初の希望者海外研修となりました。UC DAVISは茨城高校と連携協定を結んでおり、UCLA、UCバークレーと並ぶカリフォルニア大学群の名門校です。今回の研修では、STEMプログラムとキャリアプログラムとの二クラスに分かれるなど、茨城高校用にカスタマイズされた贅沢な内容でした。午後には、様々なアクティビティが用意され、科捜研を訪れたり、フードバンクのボランティアにも参加しました。テクノロジーの聖地サンフランシスコへの遠足ではUCバークレーやフィッシャーマンズブーフそしてゴールデンゲートブリッジを訪れことができました。そして、何より、UC DAVISの先生方やスチューデントアシスタント、優しいホストファミリーとの短くも濃密な交流は何にも代えがたい財産となりました。この研修を通じて、生徒たちは学問だけでなくアメリカと日本文化交流を通じて多くのことを学び、大きな成長を遂げることができました。

